



町田 宗 宏

町長は資産・所得報告書 未作成問題の責任をとれ

町長の認識不足でこのようなことになり
申しわけなく思っている

Q 町長は「政治倫理の確立のため

の玉村町長の資産等の公開に関する条例」に違反して、2期目以降資産・所得報告書を作成していなかったと新聞報道されたが、この報道は事実か。

〈町長〉 事実である。私の認識不足によってこのようなことになり、申しわけなく思っている。

Q この条例は法律に基づき条例であり、条例違反は法律違反である。条例に基づいて報告書をつくるとともに、町民に説明せよ。

〈町長〉 現段階で把握できた報告書を作成し

た。これ以上、つくるつもりはない。

Q 平成26年8月に町内で起きた3

歳児暴行死事件を未然に防げなかった最大の要因は、「まさか、母親が自分の子を暴行死させるとは。全く信じられない」と考えていたことではないか。しかし、3歳児暴行死事件が起きたことは事実であり、町はこのことを踏まえて町政に当たるべきである。

〈町長〉 町民の中に、そのようなことをする人はいないと考えてきたし、今後もそう考えていきたい。

Q 常識では考えられないことが起



親子仲よく!

こりうるのだ。町長は認識を改め、対策を講じられたい。

次に、安倍内閣が最重要政策としている「地方創生」のための事業

に、専門的組織をつくらせ、積極的に取り組め。

〈町長〉 平成27年度の総合計画後期基本計画の見直しの中で検討する。

地方創生制度への対応は

町 玉村町版の総合戦略策定が合理的と考えている



石内 國 雄

Q 玉村町は、「まち・ひと・しごと創生」を目指す地方創生制度をどう考え、対応するのか。

〈町長〉 第5次総合計画の後期基本計画の検討と合わせ、玉村町版の総合戦略を策定することが合理的と考えている。

Q たまむら道の駅（仮称）の運営体制や町からの財政支出、負担の期間、及び収入等の見込みは。

〈町長〉 運営は、公益財団法人玉村町農業公社が主体となる。当面町が直接経営し、運営は業務委託の方向で進めている。光熱水費等の管理経費と、人件費・運営費などを含む農業公社への委託料が主な支出である。また、各出店者からの売り上げに対する手数料等が町の収入となる。売り上げの将来目標は年間4億円。目標額に達するような売り上げを確保し経営が軌道に乗れば、黒字経営に転ずると考えている。

Q 3年で達成できるか。

〈町長〉 東毛広域幹線道路



渡辺 俊彦

たまむら道の駅（仮称）は 4月オープンに間に合うのか

町 現在、着々と工事を進めている

Q たまむら道の駅（仮称）の建設工事及び運営者・出店者・直売所で販売する農産物等の準備は順調に進んでいるのか。

〈町長〉 本体工事を初め、トイレ棟・駐車場・出入り口交差点工事についても、4月下旬のオープンを目指して着々と進めている。運

営は、公益財団法人玉村町農業公社に委託することが決まった。出店者についても、商工

〈町長〉 来年度に後期基本計画を策定するが、その際に前期基本

計画の評価・検証を行う。都市計画道路の齊田上之手線は、本年度完成予定。下之宮から東部工業団地を結ぶ町道220号線についても事業を進めている。滝川通り線については、スマートIC交差点と重なるため変更の必要がある。計画はあるが進まないのが現状である。

〈町長〉 町の施策と合致したものがあれば要望する。

Q 第5次玉村町総合計画がスタートして4年目になる。進捗状況及び滝川通り線を含めた都市計画道路の整備状況について伺う。

Q 国土強靱化計画に対する町の取り組みは。



オープンを目指し、着々と工事が進む道の駅



建物の建設が始まった「たまむら道の駅（仮称）」

の利用台数が予想を超えており、1年で4億円を達成するとみている。

Q 文化センターの臨時駐車場や岩倉自然公園のバーベキュー場北の元ゲートボール場の管理・使用状況は。

が、文化センターで大きな催しがない時には、要請に応じて貸し出している。バーベキュー場北の土地は、今年度4回草刈りを実施した。施設整備や改修は、利用者ニーズの状況を見ながら、施設設置者の群馬県と費用対効果を十分検討し、考えたい。

〈町長〉 臨時駐車場単体の貸し出しは原則していない